

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語発達障害概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	ことばの相談室
担 当 教 員	高松光雪／松尾 泰子	実務経験とその関連資格	言語聴覚士として心身障害福祉センターに勤務経験有り。発達障害児の言語訓練を行っていた(高松)。言語聴覚士として小児通園施設に勤務経験あり。発達障害児の言語訓練を行っていた(松尾)。			
《授業科目における学習内容》						
学生4人に症例2例を担当し、それぞれが役回り(記録、実施、保護者対応)を持ち、計画的に実行する。言語聴覚士を目指す学生として、コミュニケーションに困難さを持つお子さんの言語発達に関連する特徴を学びながら全体像を把握しながら科学的に検証ができるように記録を必須とする。						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験30%(デイリー、実習)=各実習毎にワードにて記載したものを提出。水曜実習は金曜までに。土曜実習は月曜までに。各日9時までに提出。 レポート70% (症例報告会用レジュメ、保護者訓練結果報告書)=〆切1月の初登校日13時まで。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:標準言語聴覚障害学 言語発達障害学第2版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
グループでの話し合い、不明な点は教員に報告、連絡、相談、確認を徹底して下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
前期の授業で学習した典型的な言語発達の順序や獲得過程を理解し、小児、成人と区切らず、言語療法における一連の流れを学びながら、「なんでこうなっているのか」を考え、他学生と意見を交え、患者の笑顔を引き出して欲しいと思います。また、患者の笑顔に触れ、対人職である言語聴覚士の仕事の楽しさも学習して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習における、礼節、提出物期限の遵守、報告(症例)が出来る。個人情報保護について説明できる。	レジュメ	ことばの相談室見学実習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(実習の概要・面接の方法・個人情報の取扱い方)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習における、礼節、提出物期限の遵守、報告(症例)が出来る。個人情報保護について説明できる。	レジュメ	ことばの相談室見学実習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(実習の概要・面接の方法・個人情報の取扱い方)			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		